

東日本大震災と私

作成者 F.H2

1. 地震当日 2011.3.11 の私の体験

[My 2011.3.11 on that day of earthquake experience](#)

2. 地震後3ヶ月間の私の動き

[My movement of three months after earthquake](#)

3. 今、私にできること

[I should be able to do now](#)

英語要約文へ

[To an English summary](#)

1 . 地震当日 2011.3.11 の私の体験(My 2011.3.11 on that day of earthquake experience)

地震が起こる少し前、そのときは休み時間で各々談笑したり、本を読んだりしている人がいた。勿論、そのときは電気もついていた。

突然のことだった。3月11日、14:46。そろそろ授業が始まるだろうと、皆が席

に着いた、ちょうどそのすぐ後だったように思う。窓ががたがたと音を立てて揺れだした。最初は皆、強い風が吹いているのだろう、と考えていただろう。しかし、揺れは強まり、窓だけでなく、学校全体が揺れているのを、体で感じられるほどになった。

その後すぐに、当時担任だった先生が、全員机の下に隠れるよう、指示を出した。指示を出したすぐ後。それまでついてきた、蛍光灯の電気が消えた。放送で指示が入り、体育館に避難することになった。何度も、避難訓練を受けていたが、このときの不安は、そこでのことを一瞬忘れそうになってしまうくらいだった。

体育館に避難したが、その日は高校生が定期考査期間だったため、残っている生徒はほぼ中学生で、高校生はだいたい、家に帰宅した後だった。その場で、徒歩で何とか帰ることのできる生徒は、同じようなルートで帰る人と一緒に帰り、車など、迎えを待つ人が会議室に残ることになった。各々が順番に職員室の電話を借りて家に連絡したが、つながらない人がほとんどだった。その人たちの中にも、家族が迎えにきてくれる人が、1人、また1人と出てくるようになった。

私も、地震が起きてから約2時間後に祖父が迎えにきてくれたため、帰路につくことができた。

[ページのトップに戻る](#)

2 . 地震後3 ヶ月間の私の動き(My movement of three months after earthquake)

電気が復旧しても、断水している日々が続いた。

しかし、テレビが初めてついたときは、変わり果てた岩手・宮城・福島の様態に啞然とした。それは、小学校の修学旅行でいったときの風景や家族と旅行で訪れたときの面影は跡形もなかった。

学校では、中高生徒会が協力して募金を集めた。最終的な額は50万円を超えたという。

家では、着なくなった服を救援物資として、被災地に送った。また、母は県の養護教諭などを集めていく、被災地支援に4月の中旬にいった。我が校の中学校保健の先生と同じ日だった。母の話では、被災地の現状はテレビで見るよりもずっと悲惨で、涙さえ、出ないような状況だったという。

震災後に一度だけ、岩手の盛岡に用事でいったことがあった。盛岡を見る限りは、大丈夫なのではないか、と思った。しかし、ショッピングモールや、コンビニの中にはいると、食品の量が本当に少ない現状がありありと浮かんできた。

地震後3ヶ月間、私は節電・節水や募金に取り組んだ。

[ページのトップに戻る](#)

3. 今、私にできること(I should be able to do now)

今、私たちにできることは、やはり小さなことしかできないと思う。

例えば、節電・節水。例えば、募金。それも、小さなことを積み重ねていくことしかできないのが、現状だ。しかし、現在着々と集まっている、義援金が、被災地の人々に届いていない現状がある。(産経ニュースより <http://sankei.jp.msn.com/affairs/news/110405/dst11040521000058-n1.htm>) 義援金が、1000億円を超えていても、その義援金や国民の思いは被災地の人々に届いていないのだ。

しかし、そうだからといって、被災地への支援の手を止めてはいけない、と私は考える。被災している人々は、支援の手のおかげで、頑張ろうと思ってくれているのではないだろうか。実際、被災地からの物資のおかげで、自分の仕事を小規模ながらも再開できた人もいる。そんな人たちを精一杯支えられるように、小さな心がけを続けていこうと思う。

[ページのトップに戻る](#)

英語要約文 (To an English summary)

In March 11th, we were talking with our friends or reading books, before the big earthquake came. Everybody has begun to sit down his or her seat for the start of the new class time. Then, suddenly a big earthquake came at 14:46. The earthquake attacked Tohoku seriously. It made blackout and stopped the water for several days.

My mother went to Iwate in April. The Iwate's view made her surprised. Many people in the world began to assist them with donations and real movements.

We have to support victims and we have to continue it.

It is necessary to continue to care them and to do every thing to help them.

[ページのトップに戻る](#)

がんばろうニッポン！！